

緑のセンターだより



No.146

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 26 年 2 月 1 日



講習会のご案内（お申込み・受付は前月の 20 日から）

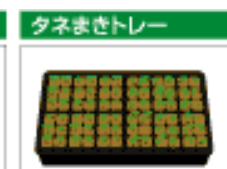
「果樹の剪定と栽培管理」 -リンゴ、サクラホ、プラム-

とき 平成 26 年 2 月 23 日（日）
午後 1:30~3:30 定員 50 名

講師 ふじくらすも果樹園
代表 増茂 聡さん



〈連続講座のお知らせ〉第 6 回目
「植物を種から育てよう」3 月 23 日
-春作業・種まきの方法-（教材費 500 円）



* 特別講座 * 先着 50 名

「植物の病害虫と園芸薬品」

とき：平成 26 年 2 月 27 日（木）



午前 10 時から 12 時まで

講師：住友化学園芸(株)研究開発部

普及グループマネージャー 草間祐輔さん

内容：園芸薬品の正しい使い方を専門家から
わかりやすく学べる大変人気の講習会



一年ぶりの旭川です！
みなさまにお会いできる
のを楽しみにしています

草間祐輔さん

「NHK趣味の園芸」病害虫の手帳に
連載されている園芸研究家で講習会
の講師としても定評がある方です。



2013 年 5 月 18 日発売

展示会のご案内（初日は午後から、最終日 4 時まで）

「神楽岡公園の四季写真展」

2 月 1 日～2 月 28 日

出展：井原 久夫さん

「温室の植物写真展」

3 月 1 日～3 月 30 日

出展：道新文化センター写真スクール



☆歩くスキー貸出中
期間：2 月 28 日迄

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）
11 月～ 3 月は毎週月曜日が休館日です。（ ” ” ）



〈園芸の基礎知識〉 植物の習性による分け方

～草本植物と木本植物～

ガーディニングには必ず草本、木本の植物が使われますが、その分類を少し見てみましょう。

草本植物は地上部の生存は短く、一年に開花、結実して枯死し、二次組織は木質化せず肥大生長しないものとされます。木本植物は地上部が多年生存して繰り返し開花、結実し、肥大生長すると定義されています。

① 草本植物

一年草(春に発芽して、その年に開花・結実する)

冬型一年草(秋に発芽して、翌年開花、結実する)

二年草(その年に発芽・生育して、翌年開花・結実する)

可変性二年草(開花・結実まで3～4年かかる)

多年草

落葉性多年草

越冬性多年草

常緑性多年草

一撿草 (開花・結実が1回限り、その後植物全体枯死)

分離型地中植物 (根茎や塊茎が母体から分離して増え、母体は枯死)

しかし定義の方法でいろいろと異なってきますが、常緑の多年草や二年草が肥大するが木質化しないもの、十分木質化しているが、一度開花すると株全体が枯死するものも草本とみなします。

一般的に前年枝が木化するものを木本、地上部が木化しないものを草本とされています。

② 木本植物

・高さによる分け方

高木

亜高木

低木

亜低木

わい性低木

・葉の存続期間による分け方

落葉樹

常緑樹

・葉の形による分け方

広葉樹

針葉樹

(参考資料：植物用語辞典 - 奴房書房 -)

緑の相談 QアンドA (20)

アデニウムの花つきが少なく生長が鈍い、どうしたらよいか育て方のポイントを教えてください。

和名は砂漠バラと言われ、東アフリカ、アラビア地域に分布し低木状に育つ多肉植物です。

花は紅色、淡紅色、白色などの5弁できれいな花です。樹液は毒を持つので注意が必要です。原産地では庭木として栽培されていますが、日本ではほとんどが鉢物として楽しまれています。

－ 育て方のポイント －

- ・ 生育温度は15～30℃で20℃以上の高温と日当たりを好みます。
- ・ 幹、枝が太く、水分を十分に含むため、乾燥には極めて強く、他の鉢ものと同じように水やりをすると根腐れの原因となるので注意して下さい。冬期間はかん水を控えて落葉さすほうが、管理が容易です。
- ・ 5～9月の生長期には2カ月に1回油粕の固形置き肥を与えます。
- ・ 花つきの悪い鉢は6月下～8月下まで、10日に1回、液肥(1,000倍)をやると効果があります。
- ・ 鉢は見た目より小さめが生育良好です。鉢植えの用土は火山礫に10分の1位のピートモスまたは腐葉土を入れて植えるとよいでしょう。(排水性を重視)
- ・ ハダニやカイガラムシがつきやすいので、発見したら所定の農薬をかけて早期防除しましょう。



エゾマツ （蝦夷松）

マツ科 トウヒ属

別名 クロエゾマツ・クロエゾ

北海道の木

エゾマツは北海道を代表する木にふさわしく、冬山で雪を乗せた姿は貫録十分です。昭和 41 年 9 月北海道の木として北海道の大自然を象徴する郷土の木、みんなに親しまれ育てやすいものとして、トドマツ、ニレ、カツラを押しつけて、道民の投票によって圧倒的な強さでアカエゾマツを含めたエゾマツが選ばれました。



夏の形態



冬の形態

生態・形態

種名 エゾエンシス（北海道の）が示すとおり国内では道南地方を除く北海道内に分布しています。常緑の針葉樹で高さ 30～40m、直径 1 m 以上に生長します。

浅根性で養分への要求度が低く環境への適応性が比較的高いため、低地から標高 1500 m 前後まで広く分布します。アカエゾマツ、トドマツと混生することが多いが、しばしば群生します。成木になると主枝が垂れ下がり、優しい印象を与えることから「おんなまつ」と呼ばれることがあります。

主な用途

北海道内ではトドマツと並び資源量が豊富であったため、古くから住宅部材を中心に広く利用されてきました。建具材、経木材、家具材、土木用材やパルプ材など様々な用途に用いられるほか、年輪幅が狭く材の緻密な良材は、アカエゾマツとともにピアノ響板やバイオリン甲板の材料に用いられています。

この時期に育ててみたい ‘ハゴロモジャスミン’

モクセイ科 ソケイ属 中国雲南省原産 常緑つる性植物

ジャスミンの仲間は熱帯地域を中心に約 300 種類あるといわれ、ハゴロモジャスミンのほかに、ジャスミンティーの原料のマツリカや香水の原料のオオバナソケイなどが知られています。

ハゴロモジャスミンは、昭和 40 年代後半にヨーロッパ経由で日本に入り、昭和 50 年代後半から一般に販売された比較的新しい植物です。

つるの先端に薄いピンクの蕾が次々に開き、星形の 2cm ほどの白い可愛い花をたくさん咲かせます。花に甘く優雅な香りがあることから、北海道でも人気のある鉢植えの一つです。冬から早春にかけて園芸店などの店頭の花つきの鉢物が出回ります。冬の道内でも暖かい室内で 4～6 月頃まで花が咲き続け、比較的育てやすい鉢花ですので、チャレンジしてみてもいいでしょう。

《栽培のポイント》

■置き場所

- ・日光を大変好む植物なので、冬期間は室内の日当たりのよい窓辺。生育適温は比較的高い 20℃程度。
- ・遅霜の終わる 5 月頃から霜の降りない 10 月末頃までは、日当たりのよい屋外。玄関フードなどで 3～5℃くらいの低温に 1 か月程度あて花芽を形成。

■水やり・肥料

- ・夏期は、水切れに注意し鉢土が乾いたらたっぷり。冬期間は、水やりは控え目にし、葉が薄く乾燥に特に弱いため、霧吹きなどで葉水。特に蕾が色づく頃は水切れで落蕾に注意。
- ・肥沃な土壌を好むため、花後の生育期の肥料は週 1 回程度の液肥と月 1～2 回程度の置き肥を併用。

■剪定

- ・切戻しは、花後の早い時期に細いわきのつるは間引き、太いつるは 1/3 程度。
- ・充実したつるの先端に花芽を付けますので、切戻し後伸びたつるの整枝剪定は 7 月頃までに終了。

■植付け・植替え・さし木

- ・植付けや植替えの適期は 5 月頃。用土は市販の園芸用土か赤玉土 4、鹿沼土 3、腐葉土 3 の混合土。
- ・さし木は、切戻し時期に合わせ太く充実したつるを使い、床土はパーミキュライトや鹿沼土を使用。

(参考資料：NHK 出版「趣味の園芸」、(株)コスモメディア「MyLoFE」ほか)



展示室の植物 (53)

レモングラス

イネ科 オガルガヤ属

レモングラスはインド南部原産で、50 種ほどが東南アジアなどに広く分布する熱帯性の多年草です。レモンの香り成分の「シトラール」を含み、甘くさわやかな芳香があります。そのため、精油してエッセンシャルオイルでの利用や生葉などはアジア料理やカリブ料理によく使われるハーブです。特に、タイ料理トムヤンクンの主要材料として使われていることがよく知られています。また、ハーブティや入浴剤、ポプリなどにも利用されています。

北海道での栽培は主に鉢植えで行われ、酸性土壌を嫌うため肥沃で水はけの良い用土で植え込みます。葉はそう生し高さが 1.5～2 m 近くなり、茂りすぎると蒸れる場合がありますので風通しを良くします。暑さには強いのですが、寒さに非常に弱いため、冬期は加温された日当たりのよい室内で育てます。また、株分けで殖やすことができます。



(参考資料：小学館「園芸植物大事典」、朝日新聞社「ハーブ 新来の香草たち」、日本ヴォーグ社「ハーブの写真図鑑」ほか)